FREE THE CHILDREN

International Day of Families

国際家族デー

5/15

1993年に始まった国際記念日。世界中の家族問題を知り、取り組むために定められました。

多様化する「家族」の形

家族の形は人それぞれであり、ライフスタイルや社会の変化に合わせて常に多様化しています。
たとえ血縁関係がなくても、自分が「家族」と呼べる相手がいたら、それは全て「家族」です。

ワーク：どんな形の家族があるか、考えて書き出してみよう。
※家族について考えることが辛い場合は本ワークを省略しても構いません。
※ほかの人と共有する場合は、相手の回答を無理に聞き出したり、批判・否定したりせず、歓迎し・受け入れる姿勢で臨みましょう。

日本の家族問題（一例）（興味がある人は世界の家族問題も調べてみよう！）

ドメスティック・バイオレンス（DV）
全国の警察に寄せられた相談の年間件数は増え続けており、2019年から年8万件を超えている。

貧困
子どもの約8～9人に1人、ひとり親家庭の半数近く（44.5%）が貧困である。

虐待
全国の警察に虐待を受けていると通告された児童の年間人数も増加しており、2020年からは10万人を超えている。
高齢者や動物が虐待される事件も発生。

孤独死
孤独死の年間件数は増加傾向にあり、東京23区内で起きた孤独死の約7割が65歳以上である。

同性婚
諸外国で認める動きが拡大し、国内の一部自治体も認めつつあるが、国の法律は同性婚を未だ認めていない。

ヤングケアラー
中学2年生の約17人に1人（1学級に1～2人）がヤングケアラーになっている可能性がある。（2020年）

男性の育児休暇
2022年の男性育休取得率は約17%。
年々上がりつつあるが、諸外国と比べるとまだまだ低い。

参考・引用
・厚生労働省HP
「国民生活基礎調査（2021年） 用語の説明」
「2019年　国民生活基礎調査の概況　II　各種世帯の所得等の状況」
「令和4（2022）年度雇用均等基本調査」
・警察庁HP「令和４年におけるストーカー事案、配偶者からの暴力事案等、児童虐待事案等への対応状況について」
・東京都福祉保険局東京都監察医務院
「東京都監察医務院で取り扱った自宅住居で亡くなった単身世帯の者の統計」
・日本財団HP「数字で見るヤングケアラー」

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。 あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント　検索

©認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

最終更新：2024年2月6日